

株式会社桑添民之助商店

和歌山県海草郡紀美野町



生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「100年の歴史により培った経験と技術で、これからの100年の夢をつなぐ」がモットー

- 最新鋭の導入設備の見学受入により、後継者育成の為人脈づくりを行っている
- 早くから着目していたスーパー繊維を用いたロープの製造販売により、これからの販路を開拓している
- ドイツ製新型製綱機の導入により、全てのカテゴリロープの製造を可能とする総合メーカーを目指す

企業基本情報

所在地	和歌山県海草郡紀美野町動木 1929
電話/FAX	073-489-2445/073-489-5571
URL	http://web.wakkun.or.jp/01828.htm
代表者	代表取締役 桑添 公博
設立	1892年
資本金	500万円
従業員数	11人



会社概要

同社は、現社長が4代目となる創業125年のロープ製造メーカー。創始者の桑添民之助が地場の棕櫚（しゅろ）の繊維を活かした縄綱の生産（手作業）により創業し、昭和30年代には機械化及び化学繊維化により近代化をはかり第1次・第2次のオイルショックの荒波も乗り越えた。現在に至ってはスーパー繊維（ケブラ・ダイニーマ等）と呼ばれる高機能繊維を用い漁業用から陸上用のロープに至るまで幅広く製造を行っている。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 後継者育成のための人脈づくりなどの体制づくり

当時、事業後継者であった現代表の提案で設備の近代化（日本で初めての海外製の最新のロープ製造機の導入）を同業異業種者を問わず公開する取組を行う。通常は極秘事項であろう同社の製造設備の見学の受入れは、同業異業種を問わず色々な人脈の構築に成功した。技術・ノウハウの伝承や従業員教育方法、営業手法なども長年の積み重ねにより習得し、昨年法人化の際に代表取締役就任することにより、円滑な事業継承を行うことができた。



最新設備の見学の受入れ

▶▶▶ 高強力繊維（スーパー繊維）を用いたロープの製造

同社がロープ製造一筋100年の歴史の中で培ってきた経験やノウハウは、同業他社には絶対まねできない最大の強みであり日本でもトップレベルである。最近では、スーパー繊維と呼ばれる最先端繊維による漁業用ロープや漁網の製造販売に力を入れている。ワイヤーロープと同等の強度を持ち、軽くて取扱いが簡単で、さらに耐久性も飛躍的に高くなる新型ロープは、非常に割高になるものの、訴求の方法を工夫して国外製品との差別化ができれば、市場を切り開くことができると確信している。



スーパー繊維による最新ロープの開発

▶▶▶ 全てのカテゴリロープの製造と小分け販売

現在、ドイツ製の最新式製綱機の導入を進めている。スーパー繊維の製造のみならず国内でも品薄となっているハツ打ちロープ製の製造も可能となり、防音処理も行われている。騒音も少なく人員もかからないこの機械を深夜を問わず稼働させることにより、飛躍的な生産量のアップを目指している。先述のスーパー繊維ロープについては価格的に割高であるため小分け販売用の製造販売にも取り組み、この工夫により少しずつであるが販売量がアップしている。



新型製綱機を導入し総合メーカーへ